

令和7年度 小中一貫教育中学校ブロック活動状況

資料3

		宇治中学校ブロック	北宇治中学校ブロック
到達目標1	9年間を見通した子どもの育ちと学びのつながりに関わって	<ul style="list-style-type: none"> ○全国学調・府学テの分析・確認 ○ICTの効果的な活用 ○公開授業を含む合同授業研究 ○特別支援教育の支援・手立てを含めた小学校から中学校へのきめ細かな引継ぎ ○研究テーマ「学力(国語力)向上のための、学級経営と授業の改善」の共有 ○定期的な児童・生徒実態アンケート 	<ul style="list-style-type: none"> ・総会の際に、各校における授業方法等の工夫や、各校の児童・生徒などの実態を知り、学力の向上や小中連携に生かすようにした。 ・児童会・生徒会による合同行事(9/5に北宇治中にて中学生の合唱リハーサルを小学生が見学)や半日体験入学の取組、小学校での職場体験の実施等により小中連携を推進した。 ・夏季研修にて小中間の道徳の授業について交流→2月に中学の道徳授業を小学校教員が参観した。
到達目標2	つながりのある子ども理解と生徒指導に関わって	<ul style="list-style-type: none"> ○小中学校間の丁寧な引き継ぎ ○実態交流 ○各校の授業参観 ○就学前を含む地域の関係機関との連携 ○定期的な児童・生徒実態アンケート 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季研修において、南部センターの警察の方を講師として招きSNSトラブルの未然防止に向けた合同研修会を行うなど、先手を打てる生徒指導を行うきっかけになった。 ・職員に人権意識の高揚を図るとともに、人権問題への理解や認識を深めることにつなげられた。
到達目標3	指導や支援に磨きがかかる教職員の連携に関わって	<ul style="list-style-type: none"> ○コーディネーター会議の定期的な開催 ○小中一貫教育の推進に向け、課題解決に向けた具体的な研究・研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・機能的な組織運営をめざし、年度当初に校長会や企画会議を実施して本年度の小中一貫教育における方針や計画を決定するとともに、各コーディネーター間の連携を密にし、小中一貫教育をさらに有効的なものにした。 ・2回の総会と夏季研修で、目指す児童生徒像を共有した。
到達目標4	家庭・学校・地域でつくる育ちの輪に関わって	<ul style="list-style-type: none"> ○「小中一貫教育便り」の活用 ○保護者・地域からの意見の収集 ○学校運営協議会・地域団体への積極的なブロックの取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域クリーン運動を小中合同で行うなど活性化を行った。

		榎島中学校ブロック	西小倉中学校ブロック
到達目標 1	9年間を見通した子どもの育ちと学びのつながりに関わって	<p>○学力分析を通して授業改善の取組…学力分析部会を通して、児童・生徒の課題を把握し、課題克服に向けての方向性や取組について協議して授業改善に繋がった。</p> <p>○アクションプラン推進…国語力部会を中心に、「効果のある宇治市方式を進めるアクションプラン」を推進した。</p> <p>○小学生の中学校体験入学…中学進学への不安を解消し、中学校生活への見通しを持つために、中学校での授業体験と部活動体験を行った。</p> <p>○服のチカラプロジェクト…ブロックの小中学校の生徒会・児童会を中心に、ユニクロ主催の古着回収事業の活動を行った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの小学校・中学校の学力分析を行い、小中合同研修会で、全教職員で共通理解を図った。 ・全教職員が同じ方向で子どもたちを支援する必要があると考え、指導方針の確立を目指した。
到達目標 2	つながりのある子ども理解と生徒指導に関わって	<p>○生徒指導部会、インクルーシブ教育推進部会による交流…生徒指導やインクルーシブ教育推進における児童・生徒理解を深め、小中接続をスムーズにするために情報交流や協議を行った。</p> <p>○L Cによる小6出前授業…小中接続をスムーズにさせるため、ラーニングコーディネーターと中学校生徒指導主任が各小学校で、中学入学前の心得や準備等について授業を行った。</p> <p>○各校授業参観…各校の授業参観を通して、児童・生徒理解を深め、小中連携をスムーズに行った。</p> <p>○夏季研修（講演会の企画）…本校SCを講師に招いて、児童・生徒理解、保護者対応や各校の課題解決に繋がる内容についての研修を行った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校の学校通信を回覧し、それぞれの学校の状況を全教職員が把握するとともに、小と中の年間行事の違いを捉えたり、子どもや保護者に伝えるべき内容の違いを相互理解した。 ・学期ごとにそれぞれの小学校にラーニングコーディネーターが出向き、中学校準備講座を行った。
到達目標 3	指導や支援に磨きがかかる教職員の連携に関わって	<p>○合同研修会…榎島中ブロックの取組や目指す方向性などの確認や、各部会等の取組の報告等を行う。また、講師を招いてブロックの課題解決に関わる講演会等を実施した。</p> <p>○各部会での授業改善・取組改善…学力分析部会、国語部会、ICT推進部会、インクルーシブ教育推進部会、生徒指導部会、特別活動部会に分かれ、小中一貫教育の視点でそれぞれのグループにおける授業改善や取組の改善に向けて協議や、各校の情報交流を行った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小中合同研修会で開校後に必要な事項について、議論を重ねた。 ・担当者会毎で検討会議を行った。 ・コーディネーター会議を頻繁に実施した。 ・課題解決学習の教職員研修を行った。
到達目標 4	家庭・学校・地域でつくる育ちの輪に関わって	<p>○教職員広報の発行…教職員広報を発行し、小中一貫教育推進に関わる情報を発信し、小中学校の教職員の共通理解を図りながら、取組を推進した。</p> <p>○情報発信…小中一貫教育便り「ゆるやかに、つながる」の継続発行(保護者配布・地域回覧)やHPへの掲載、各校の広報誌での小中一貫教育目標やめざす子ども像、取組等の広報や校内掲示等を行い、小中一貫教育に向けた取組や研究を積極的に情報発信した。</p> <p>○地域との連携…学校・地域行事で、児童生徒が共に活動したり、交流したりする場面や小中一貫教育の成果を発揮する場面を設定した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各学期に1回、広報誌を発行した。 ・地域懇談会を実施し、保護者と地域の方と生徒との交流の場を創出した。 ・地域の協力も得ながら、閉校に向けた思い出プロジェクトを実施した。 ・様々な地域行事に参加した。

		西宇治中学校ブロック	南宇治中学校ブロック
到達目標1	9年間を見通した子どもの育ちと学びのつながりに関わって	<ul style="list-style-type: none"> ・年3回のN・I・S合同研修会で、非認知能力、評価の仕方、道徳などについての講義を受けた。 ・ブロック内の3小中学校のコーディネーターが集まり、全国学調や学びのパスポートの結果を見て分析交流した。また、第2回N・I・S合同研修会において、分析結果からわかったことや今後の重点目標などを交流した。 ・1学期と3学期に特支交流会を行い、小学校から中学校へのスムーズな接続や小中の児童生徒や保護者同士の交流を促すことができるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏期研修会で小中間での課題、宿題についての取り組み方を共有した。 ・「心理的安全性」を高めることに焦点化した研修でグループ協議を行い、実践例などを共有した。 ・京都府学力学習状況調査（学びのパスポート）の「自己調整」と「心理的安全性」についての交流を行い、ブロックの児童生徒の特徴を共有した。
到達目標2	つながりのある子ども理解と生徒指導に関わって	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回N・I・S合同研修会では、「成長的マインドセットを高めるために」と題して、カップスなどのワークショップを交えながら実践的に社会情動的な力を伸ばすための考え方や方策を学び、第3回N・I・S研修会では、「非認知能力を育てる道徳科の授業づくり」と題して、道徳科の授業で大切にすべきことを学んだ。 ・第2回N・I・S合同研修会では評価についての研修を行い、教科部会で研修で学んだ内容を深め、交流した。 ・11月の新入生半日入学における部活動体験や、2月の学習説明会を行った。 ・中学校のラーニングコーディネーターがそれぞれの小学校で週1回授業見学を行い、学びにくさのある児童の支援を行った。 ・N・I・Sの教科部会で、連続性のある子ども理解と生徒指導ができるよう、交流や話し合いを行うことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校授業体験で、中学校の教員が国語科、社会科、保健体育科の授業を行った。 ・LCによる小学校出前授業を行った。 ・LCが月に数回の小学校の授業参観を行った。
到達目標3	指導や支援に磨きがかかる教職員の連携に関わって	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回N・I・S合同研究会で教わったカップスは、研修後も話題に上がることが多く、教室で児童生徒と行っていた学級もあった。 ・教科部会では、第1回N・I・S合同研修会にて、それぞれの教科部会でカップスやそのほかのワークに取り組み、その感想などを交流した。第2回N・I・S合同研修会においては、どのように3観点を評価しているか、中学校での学習に向けて小学校でできること、しておいてほしいことを考えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年4回の小中合同会議でテーマを設定し、小中の教員が混ざったグループで意見交換を行った。 ・やさしい日本語エバンジェリスト船見和秀氏を講師に招き、「やさしい日本語について」の研修会を実施した。
到達目標4	家庭・学校・地域でつくる育ちの輪に関わって	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロック内の3校で日程を合わせて年度に3回の朝のあいさつ運動を行った。昨年度までは、それぞれの学校に集まって行っていたが、児童生徒の安全確保と教師の負担軽減から、今年度の形となっている。挨拶ができる児童生徒の育成を目指し、児童会、生徒会で行っている。 ・さまざまな機会に可能な限り交流を密に行うことができるように取り組んでいる。 ・児童生徒と、一緒にカップスやワークの活動を学級で行い、非認知能力を高める取組を行った。 ・神明小では、新入生半日入学だけでなく、学習説明会においても、西宇治中進学組と宇治中進学組に分かれて行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援を必要とする児童生徒の情報共有および、支援体制の協議、実践などを行った。 ・児童会生徒会を中心とした交流活動を実施をした。「年間3回の小中合同あいさつ運動と事前のオンライン会議」「地域清掃ボランティア活動」「中学校授業体験、部活動体験（6年生）」「中文拳の武術体験（各小学校の2年生）」「帰国外国人児童生徒理解学習（6年生）」を行った。

		広野中学校ブロック	東宇治中学校ブロック
到達目標1	9年間を見通した子どもの育ちと学びのつながりに関わって	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学園児童生徒の学力充実を目指し、各部会の組織的な活動の実施 ・ 中学校ブロック「家庭学習の手引き」の作成 ・ 小6児童への春休み宿題の作成 ・ 宇治市学力向上対策協議会によるスキルアッププログラムの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 合同研究授業や相互授業参観を含む小中合同研修会を実施した。 ・ 「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善を積極的に進め、その中に、ことばの力を高める視点を加え、日常の授業や家庭学習、小中一貫教育の様々な取組と関連させ、生きて働く学力や生きる力を高めるための指導の充実・向上を図った。また、非認知能力と認知能力の一体的な育成・向上に向けた授業研究を進めた。
到達目標2	つながりのある子ども理解と生徒指導に関わって	<ul style="list-style-type: none"> ・ HOT-MEETING(3校合同児童生徒会)の実施 ・ 福島ひまわりプロジェクトの実施 ・ 小6の中学校体験学習での小小交流事業 ・ 中学1年生による小学校1年生への紙芝居読み聞かせ ・ 小学校での中学生職場体験の実施 ・ 部活動見学の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門部会を実施した。 ・ 学力面だけでなく、生徒指導部会、特別支援・教育相談部会を設定し、学校ごとの取組や児童の様子を交流するとともに、中学校へスムーズな接続ができるように一致した取組を進めた。 ・ 3小の6年生によるオンライン交流を実施した。
到達目標3	指導や支援に磨きがかかる教職員の連携に関わって	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宇治ひろの学園総会の実施による小中一貫教育の取組周知 ・ 3校での夏季合同研修の実施 ・ 授業研の交流 ・ 3校の生徒指導の交流（問題事象の交流や傾向の分析など） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相互授業参観・合同研究授業を実施した。 ・ 相互授業参観や合同研究授業を通して、教職員の連携と協働を進め、指導力を高めた。 ・ ブロックの小中学校の職員写真を職員室内に掲示することで、連携・協働を進めやすくした。
到達目標4	家庭・学校・地域でつくる育ちの輪に関わって	<ul style="list-style-type: none"> ・ HOOP(宇治ひろの学園小中一貫教育だより)の保護者への配付 ・ 各校の学校だよりでの紹介やホームページの活用 ・ 3校巡回作品展示の保護者向け公開 ・ 中学校ブロックあいさつ運動（各学期1回、合計3回） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小中一貫教育だより等による広報を行った。 ・ 家庭学習習慣・生活習慣の確立・充実の取組を行った。 ・ 小中一貫教育だよりを発行したり、各校の学校便り等で小中一貫教育の取組を紹介したりして、積極的に情報発信を行った。 ・ ブロック共通の「家庭学習の手引き」の活用を進めながら、児童生徒の実態に応じた家庭学習習慣・生活習慣を高める取組を進めた。

		木幡中学校ブロック	黄檗中学校ブロック
到達目標 1	9年間を見通した子どもの育ちと学びのつながりに関わって	<p>【9年間を見通しての「ことばの力」の育成】 8つの教科部会（国語、社会・生活、数学・算数、理科・生活、芸術、保健体育、英語・外国語、道徳）で、3回の小中合同の研修会の中で、「ことばの力」を育むために、系統的・継続的な指導を進めた。</p>	<p>「探究的な学び」の指導についての実践的探究 ・生活科・総合的な学習の時間を中心とした各教科とのつながりを明確にした年間指導計画を作成・改善を図った。 ・「探究的な学び」の土台として、9年間の系統性を意識しながら効果的な基礎学力定着の取組を計画・実施した。</p>
到達目標 2	つながりのある子ども理解と生徒指導に関わって	<p>【切れ目のない生徒理解と小中が連携した生徒指導の推進】 3つの連絡会（学力充実・いしずえ、児童生徒理解、健康安全）を通して、小中での児童・生徒交流を深め、切れ目のない生徒指導・支援を推進した。</p>	<p>情報の共有による一体的な生徒指導 ・9年間の継続的な生徒指導を進めるため、小学校・中学校それぞれの課題を共有した。そのため、小学校の生徒指導部長が中学校の生徒指導部会に毎回参加し、定期的に小学校とも情報共有を図った。</p>
到達目標 3	指導や支援に磨きがかかる教職員の連携に関わって	<p>【夏季合同研修会】 人権教育の手法を深めるために講師を招いて、人権に関する講演を実施。様々な人権について深め、人権意識の向上を図った。</p> <p>【小中連携】 小中合同研修会を通して、中学校ブロックの課題や長所を共有し、それを生かした取組を行った。</p>	<p>小中連絡会 ・小中の現状把握・課題の共有・連携した指導ができるようにする。 小中合同夏季研 ・発達支持的生徒指導、児童理解を中心とした特別支援の手法、学力・学習状況調査の分析等の研修を全小中教員で実施する。 めざす児童生徒像（行動指標）検討 ・全小中教員で本校の課題とめざす姿を話し合い、次年度のめざす児童生徒像（行動指標）を検討する。</p>
到達目標 4	家庭・学校・地域でつくる育ちの輪に関わって	<p>ホームページに小中一貫教育の取組を掲載し、取組の啓発を図った。 【小中一貫だより】 小中一貫の通信を発行し、小中一貫の取組を発信した。 【保護者説明会】 新入生保護者説明会などを通して、小中一貫の取組について情報発信を行った。</p>	<p>コミュニティ・スクール ・計画的に学校運営協議会を開催し、小中一貫教育の状況確認を行った。 ・ホームページ等を活用し、学園全体の取組の積極的な広報活動を行った。 ・各教科・クラブ活動等における学校ボランティアの活用を進めた。</p>